

京都市洛西地域公共交通会議の設置について

1 設置の趣旨

洛西地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、洛西地域の实情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため設置する。

2 経緯

洛西地域の公共交通については、4つのバス事業者（市バス、京阪京都交通、ヤサカバス、阪急バス）がきめ細やかに運行し、鉄道駅（JR、阪急電鉄）までのアクセスを中心とした路線バスが充実している状況である。これまでから、地域内の交通事業者（バス事業者4社、鉄道事業者2社）及び京都市（都市計画局歩くまち京都推進室・西京区役所洛西支所）で洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループ（以下、「洛西WG」という）を立ち上げ、公共交通の利用促進・利便性向上に取り組んできたところである。

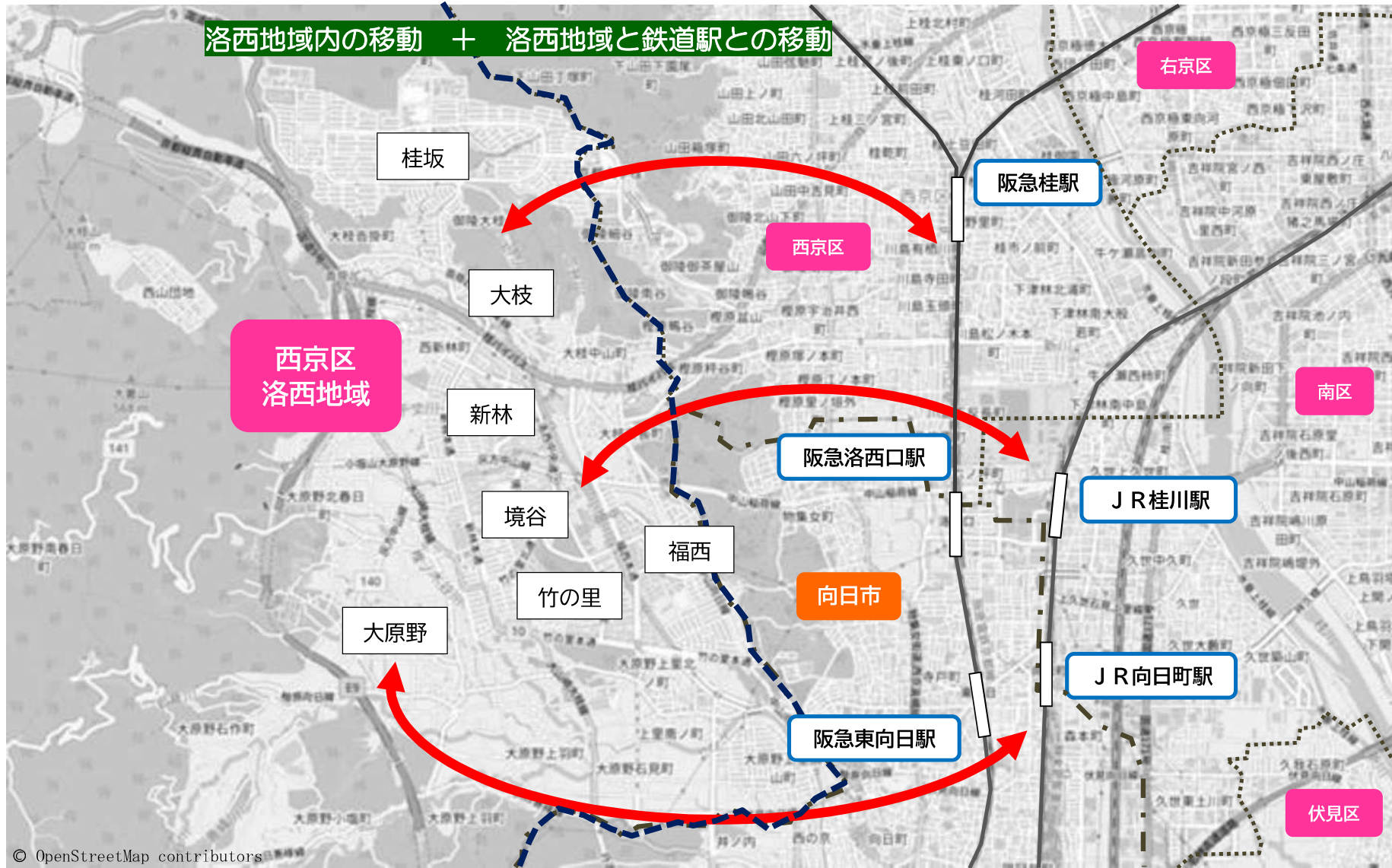
一方、当地域は人口の減少と少子高齢化の進行が著しく、バスの利用者は減少傾向にあり、加えて、新型コロナウイルスの影響を受け、地域内の交通事業者は厳しい経営環境に置かれている。

こうした状況下、洛西地域において、将来にわたって生活交通が維持・確保できるよう、洛西WGを道路運送法に基づく「京都市洛西地域公共交通会議」に移行し、効率的で持続可能な交通体系（バス路線・ダイヤ）及びダイヤ・運賃制度等も含めた利便性向上策について、当地域交通会議内で検討していく。

3 協議範囲

本会議の協議範囲は、資料2-2のとおり、洛西地域内の交通及び洛西地域と桂川駅、桂駅、洛西口駅等の鉄道各駅間とする。

「京都市洛西地域公共交通会議」で協議するエリアイメージ



© OpenStreetMap contributors
この地図は、以下の著作物を改変して利用しています。
OpenStreetMap (<https://www.openstreetmap.org/>)
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示-継承 2.0 一般 (CC BY-SA 2.0)
<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0/deed.ja>